

令和4年9月13日  
中野区立教育センター  
就学前教育推進担当  
指導主事 矢澤 理恵  
主 査 佐藤 康枝  
中野区中央1-41-2  
(みらいステップなかの)  
電話 03(5937)3097

# 連携教育通信

## <令和4年度 就学前教育推進の取組について>

令和4年4月から就学前教育推進担当者が代わり新たにスタートしました。よろしくお願い致します。  
今年度も、保幼小中連携教育に関する様々な取組につきまして、以下の通り実施致しております。  
詳細はこの「連携教育通信」を通して皆様にお知らせしていきます。

保幼小中連携教育の取組	実施日
保育園と幼稚園と小学校の連絡協議会	6月14日(火)第1・第3ブロック 6月21日(火)第2・第4ブロック 実施
小中連携教育協議会	①5月18日(水) 実施 ②12月21日(水) 開催予定
合同研究会 (教育・保育部会) (運動遊び部会)	5月～10月各部会5回ずつ実施 10月のまとめ報告会は両部会合同で開催予定

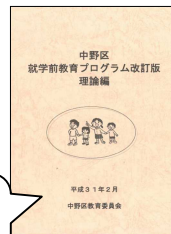
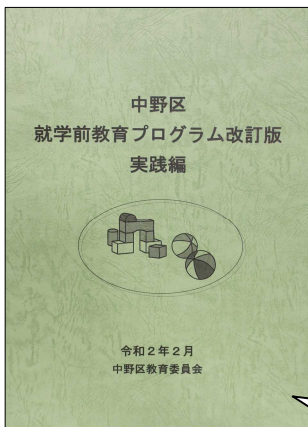
## <中野区就学前教育プログラム改訂版(実践編)について>

令和2年2月「中野区就学前教育プログラム改訂版(実践編)」が作成されました。これは、平成30年度に作成された「中野区就学前教育プログラム改訂版(理論編)」を基に、乳幼児期の子どもに生きる力の基礎を培うために、発達や学びの連続性を考慮しながら、0歳児から5歳児の発達に応じて経験させたい内容を明らかにするとともに、具体的な指導方法を明示したものです。

4月から開園した保育施設も含め、就学前教育・保育施設、区立小学校21校、区立中学校9校、関係各所に配布しております。ぜひご活用ください。

中野区就学前教育プログラム改訂版(実践編)です。  
(理論編)と合わせてご活用ください。

平成30年度作成  
中野区就学前教育プログラム  
改訂版(理論編)



## <就学前教育プログラム改訂版(理論編) 概要版リーフレットについて>

就学前教育プログラム改訂版(理論編) 概要版リーフレットは、年度初めに区内の乳幼児教育関連施設に在園する、5歳児(次年度小学校就学予定児)のご家庭に、園を通して配布しています。

このリーフレットは  
施設入り口に掲示・  
保護者会の資料とする  
等、就学前教育の様々な  
取組について、保護  
者に説明するための資料  
として活用できます。

## <保幼小中連携教育の取組について>

保幼小中連携教育は導入期・充実期・総括期の3期5年間の計画で段階的に進めていきます。

昨年度までの導入期における「取組1:地域を核にした連携」「取組2:教職員連携」はこれまでの取組を継続しながら見直し、充実を図ることとしています。「取組3:カリキュラム連携」は協議・検討された内容を基に今後始まる各中学校区での充実期における実践に向けて提案を行っていきます。

### 取組1「地域を核にした連携」

※従来の取組の充実と見直し

- ・アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム
- ・オープンキャンパス・乗り入れ指導
- ・各中学校区での合同行事

### 取組2「教職員連携」

※教職員による学校段階間の強化

- ・保幼小連絡協議会
- ・小中連携教育協議会
- ・保幼小中連携教育研修会

### 取組3「カリキュラム連携」

※学びの連続性に着目した4つの視点による保幼小中「連携研究」の実践

- ・学力向上・体力向上・心の教育・特別支援教育の4つの視点で研究・実践し、その成果物を各園・校に還元するとともに、学校での取組について検討する。

## 令和小学校で【学校生活参観+懇談】が行われました



7月5日(火) 令和小学校区の就学前施設の職員を対象とした学校生活参観が行われました。

入学して3か月が過ぎた1年生の様子を、3月まで就学前施設で関わっていた職員に見せて下さるものでした。5時間目の国語の授業を見学させていただきました。顔見知りの保育園・幼稚園の先生を気にしながらも“1年生だから授業中に手は振らないもん”といった表情の子どもたちと、“ちゃんと座って先生の話聞いて授業受けられているかな”と心配そうな就学前施設の職員たち。教室の中が双方のドキドキであふれていました。姿を確認できるとマスクの下の表情が緩み、授業が進むうちに教室の空気が安心していっぱいになっていました。授業の後は松井校長先生や渡辺副校長先生・1年生の担任4名の先生とお話させていただき、子どもたちの個別の様子もお聞きすることができました。就学した子どもたちの姿から就学前施設の職員は“自分たちが幼児期にやってきたこと”とのつながりが感じられ、今後の教育・保育に対する意欲につながっていったように感じました。学校図書館の読み聞かせや校庭使用にもお誘いいただき、各園今後の計画の中に取り入れ、小学校に気持ちが着実に近づいているように思います。



### 「子どもの主体的な学びを考える」

山梨大学名誉教授

加藤繁美先生

### ～子どもの主体的な学びの理解を深め、保育に活かす～

6月29日(水)みらいステップなかの 研修室1001において、就学前施設の職員対象に保育園・幼稚園課の研修会が開催されました。

「主体的」とは自発的や能動的とは異なり、能動性と共同性を併せ持つものだということ、子どもたちの姿とそこに関わる保育者の事例をお話くださいました。対話的学びを不可能にするものは①子どもの活動に共感できない感性②子どもの面白さに学びの可能性がひらめかない知性・感性③学びの個性と保育集団性とを二項対立でとらえる習性(個の学びをみんなで学ぶことにどうつなげていくか)であるということ、内容を冗談を交え、笑いを誘いながらお話くださいましたが、内容はハッとさせられるものでした。

「学校の学びはプログラムがある。就学前の学びはプロジェクトであり概念的知性(知性・理論)と直感的応答力(身体的知性・直感)の2つから構成される。直感的応答力は子どもの要求と結びついている。就学前の学びは学校的学びに結びついていないと思うことでも人生の学びとなる」というお話は、受講していた保育者の大きな意欲と自信になっていると感じました。

